

アブラハムの信仰 (8)

「旅人をもてなす信仰」

(馬場 真貴子 牧師)

【聖書のみことば】 創世記 18 章 1-8 節

1 主はマムレの櫪の木のそばで、アブラハムに現れた。彼は日の暑いころ、天幕の入口にすわっていた。2 彼が目を上げて見ると、三人の人が彼に向かって立っていた。彼は、見るなり、彼らを迎えるために天幕の入口から走って行き、地にひれ伏して礼をした。3 そして言った。「ご主人。お気に召すなら、どうか、あなたのしもべのところを素通りなさないでください。4 少しばかりの水を持って来させますから、あなたがたの足を洗い、この木の下でお休みください。5 私は少し食べ物を持ってまいります。それで元気を取り戻してください。それから、旅を続けられるように。せっかく、あなたがたのしもべのところをお通りになるのですから。」彼らは答えた。「あなたの言ったとおりにしてください。」6 そこで、アブラハムは天幕のサラのところに急いで戻って、言った。「早く、三セアの上等の小麦粉をこねて、パン菓子を作っておくれ。」7 そしてアブラハムは牛のところに走って行き、柔らかくて、おいしそうな子牛を取り、若い者に渡した。若い者は手早くそれを料理した。8 それからアブラハムは、凝乳と牛乳と、それに、料理した子牛を持って来て、彼らの前に供えた。彼は、木の下で彼らに給仕をしていた。こうして彼らは食べた。